

令和5年度 学校法人アルウィン学園 事業報告

ひとりひとりを大切にしたい そしてその育ちを支えたい その想いがアルウィン学園の教育の原点です

1. 学園概要

設立 大正5年(1916)2月

設置する部門(2部門)

育成部門 玉成保育専門学校 校長 藤岡 郁子

保育部門 こどもの木かけ

玉成幼稚園 園長 関本 泰子

野のはな空のとり保育園 園長 佐久本 宏美

学生定員及び在籍生徒・園児数

	定員	在籍数 (R5,5/1)	在籍数 (R6,3月末)
玉成保育専門学校 保育専門課程 保育学科	100名	90名(1年49 2年41)	80名(1年41 2年39)
玉成幼稚園	270名	143名(少43中46長54)	139名(少43中46長50)
野のはな空のとり 保育園	30名	34名(8,12,14)	34名(9,12,13)

教職員数

括弧内は前年度

	専任教員	専任職員	非常勤	パート	派遣職員
法人		4名(4)			
こどもの木かけ	0名(0)				
玉成保育専門学校	4名(5)	2名(2)			
玉成幼稚園	16名(20)		2名(0)	19名(18)	
野のはな空のとり保育園		17名(17)	2名(4)	19名(18)	0名(1)

法人役員・評議員 (R5,4月)

	定員	実人員
理事	8名	7名
監事	2名	2名
評議員	17名	16名

理事長 藤岡郁子

理事 国分紀之、今関公雄、小倉 昇  
藤岡郁子、関本泰子、佐久本宏美、安田淳一

監事 阿部豊太郎、勝間田清一

評議員 国分紀之、今関公雄、小倉 昇  
加藤正克、花井 香、茂井万里絵、西川 涼、渡辺 愛

藤岡郁子、関本泰子、佐久本宏美、安田淳一、片岡容子  
山本直子、春澤 薫、黒田康子  
委嘱医師 森谷泰和（玉成保育専門学校、玉成幼稚園・野のはな空のとり保育園）  
薬剤師 三澤全美

\*学校法人の経営に伴って発生する賠償責任に対応するため、役員個人に関する補償及び法人に対する補償を内容とした全日本私立幼稚園連合会が取りまとめる役員賠償責任保険（総支払限度額1億円）に加入。

## 2. 事業報告

令和5年度運営計画における①基本方針、②運営方針、③教育方針 に基づき、以下のとおり、（1）教育内容の充実 （2）施設・設備等教育環境の充実 に努めた。

### （1）教育内容の充実

創立者アルウィン先生の建学の精神に沿い、計画当初の教育方針に従い、各部門ともに本学園の特色を生かした教育に努めた。

#### 【アルウィン学園】

##### ① 学園の教育・保育理念、運営方針の確認と実践

アルウィン女史の思いである「共に育つ」を大切に、新型コロナが感染症法上5類に移行したので、プラクティカルスタディ(幼稚園・保育園での保育体験)の再開やフレンドリーウィークも以前の2日間に戻すことができた。また、3つの育ちの場が情意統合で教育・保育を実践するため、2024年度から5年間の中期目標も作成した

##### ② 教職員にとって働きやすい職場づくり

日々の教育・保育を丁寧に取り組むため、教職員の働きやすい環境を整えるべく各教育・保育現場にて努力はしているが、少子化の影響もあり、職場間の不公平さを縮めるために今後も尽力する。

##### ③ 学園の課題の整理

木かげ会議を月に1度開催し、各園長・各主任・理事長で現在の問題を2023年度は話し合ってきた。今まで幼稚園が使っていた2階の部屋を保育園が主に使用し、1階の多目的室は幼稚園が使用するというような改革を可能とした。

##### ④ 学園の整備と管理

幼稚園の半分のトイレを湿式から乾式にし、費用の掛かる剪定が必要な木や草花も伐採するなど整備している。子どもたちに危険が及ぶ可能性がある物の撤去は急ぐなど、安全と過ごしやすい環境を確保するための管理を継続する

#### 【育成部門】

## 《玉成保育専門学校》

### ① 玉成保育専門学校の理念・目的の確認と共有

2022年度に策定した玉成保育専門学校の3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）に基づいて、どのような教育を行い、どのような人材を輩出するのかを共通理解し、連携するために講師会で非常勤講師へも周知した。学生募集要項に記載するだけでなく、学生・保護者・高校教員へも積極的に説明していく。

### ② アドミッション・ポリシーに適合した学生の安定的確保

2024年度の入学生は、本学の教育理念や方針を理解し学ぶ姿勢で授業に臨んでいる。今後も50名の学生確保のため、高校の学生説明会への積極的な参加、高校教員との関係強化、指定校推薦入試の広報などとともに、既卒受験層への働き掛けなどにも注力する。また、実現できなかったHPの大幅な改革も引き続き行う。

### ③ 増加する中途退学の予防と対策

消極的な理由の退学は減少した。学生自身に保育者になりたいという強い意思があれば、この先も非常勤講師とも連携を取り、教職員全員による支援をする。

### ④ 地域との連携強化

幼児教育者・保育者の養成校として、昨年度も中学生の上級学校訪問時などを受け入れ、幼児教育や保育の重要性と楽しさを理解してもらう良い機会となった。また、杉並区にある養成校として、杉並区と連携し、コロナ禍で途絶えていたボランティア活動も、玉成保育専門学校ボランティアサークルを結成し、2024年6月に西荻の集会所にて実施予定である。

### ⑤ 業務削減に向けた効率化

業務削減に向けて業務を改めて洗い出す時間を確保することは出来なかったが、ペーパーレス化として学校日誌をエクセルでの管理とした。教職員個々のワークライフバランスを充実させる努力を続けていく。

## 【保育部門】

### 《玉成幼稚園》

#### 1. 建学の精神を礎に、保育センターこどもの木かげと玉成幼稚園の教育理念や基本方針を明確化する

- ・教育課程を編成し、4月からはそれに基づき、年間・学期・月・週・日案を学年ごとに指導計画をたてた。教育課程、新キリスト教保育指針の内容を読み取りながら、全職員で日々の保育を行った。保育者一人ひとりの保育観や子ども観などを、会議等で話し合い何よりも「子どもにとってよい保育」を实践するよう努め、試行錯誤しながら、日々の保育を丁寧に行った。
- ・今までは、短時間から長時間保育の移行は難しかったが、長時間の定員枠を広げた

ことにより、4人が年度途中で移行できた。柔軟な対応ができた。

- ・今年度「ふたつの芽」は10組から始まり、13組参加。(昨年は30組) 保育料金、徴収方法、振替日、杉並区こども応援券の利用、親子分離など柔軟な対応が必要だった。地域でホール、保育室などの施設使用希望の団体・個人の問い合わせはあるが、受け入れ体制を整える必要がある。

## 2. 幼稚園の教育理念、方針を全教職員が共通理解し、教職員同士のコミュニケーションをとり、多種多様な特性を持った者たちが、互いのよさを認め合い、生かし合いながら、生き生きと教育活動に取り組めるような体をつくる

- ・4月から研修の時間は保証し、特に今年度は外部研修(都私幼・杉私幼・キ保連・杉並区支援センター・田中研・大学)等に希望者は全員が参加し、その内容を会議で報告し、それぞれの保育に生かせるよう努めた。内部研修も元文京大学教授平山許江先生から玉成の保育についての講義を2回受けたが継続はできなかった。
- ・変形労働時間導入により、時間外の勤務は少なくなった。しかし年度途中で4人の保育者が退職し、超勤をせざるを得なかった。(早番・夏休みの勤務等) 有給は長期の休み以外でも取得できるようになってきた。
- ・学年ごとの話し合いを中心にし、リーダーは決めず、水曜日の全体会議で、保育全体について保育者全員での話し合いを深め、その会議には長時間保育の先生も一人参加し共有した。会議時間についても1時間から2時間程度に決め実行できた。
- ・長時間保育では、保育の始まる前1時間子どもの思いや育ちを確認し、保育者自身のかかわりを問い直すことを大切にしたい。その会議には短時間主任も出席し共有した。

## 3. より丁寧な子ども支援・保護者支援を行う

- ・1学期に8人の園児が様々な理由で退園した。今までの保育者、保育から、新体制に変わったことへの不安、不満が大きかった。理解してもらえるような説明努力が足りなかった。
- ・豊かな保育実践のためには、その土台となる教育課程がしっかりと編成されたことで、園だよりの内容、懇談会の在り方、保育参観の在り方、行事の取り入れ方等の内容を吟味した。保育者自身が保育に悩み、迷う時も、子どもの姿、保護者の姿、環境構成、保育活動など一つひとつの内容がより専門性を高めて援助、実践していけるよう、園全体で短時間保育者も長時間保育者も協力し合って進めることができた。
- ・援助の必要なケースカンファレンスについても今年度臨床心理士の資格を持つ2人の教諭の助言を受け、定期的に話し合いを進め、指導計画書も作成した。また、杉並区の支援センターなど専門機関と連携、協力を得て、大きな学びにつながった。

### 《 野のはな空のとり保育園 》

#### ① 保育実践の記述の学びを継続し、保育の質向上につなげる

「子ども理解」にはまず保育者が子どもの成長発達の姿を見極めた上で、今その子が必要としているあそびは何かを察知し、一緒にあそびこむ、そこでその子の心の動きや学びの物語を掴み、記録するという、いくつものプロセスが必要である。限られた事務時間と

場所の確保の課題を乗り越えて、職員同士がポジティブに保育を語り合い、自分自身の学びと向上に努めてきた。

## ② 業務改善と働きやすい職場づくりによって、保育の質向上につなげる

既存の週休2日制に加えて、変形労働制を導入したことで、残業が減り週休をしっかり確保しリフレッシュできる環境となった。その分毎日クラスの職員誰かが休みを取っている中、事務時間の確保と話し合う時間の確保・同僚性を持ってコミュニケーションを持ち続けることの重要性が更に浮き彫りとなった。3年に1度のTOKYO働きやすい福祉の職場宣言が更新され、内外に公表されている。

## ③ 保育所保育指針と、こどもの木かげの基本理念を踏まえた保育を実践する

子どもの最善の利益を求める保育のために、ポジティブな言葉を使った声かけなどを学び合った。保育園の全職員が、玉成幼稚園に1日保育体験する研修を実施し、幼児期の成長発達を目の当たりにし、木かげとしての一体感の大切さを実感できた。

## ④ 地域の子育て家庭と、園の保護者に向けた子育て支援に取り組む

親子ひろばで好評な給食レシピを、紙媒体での配布だけでなくホームページで公開するようにした。他にも保健だより、献立表も公開し、地域の子育て家庭の方が毎月チェックし参考にして下さっている。在園児のご家庭に対しては、日々のおたより帳でのやりとりだけでなく、ポートフォリオやドキュメンテーション、保育参加などを通して、自分の子どものことだけでなく、より広い視野で子育て観が培われたり、ヒントを得たりしていると感じた。

### 【地域支援部門】

#### 《 コミュニティラボ にこにこのたね 》

基本方針に沿って、今年度は「ふたつの芽」「園庭開放」「親子ひろば」等9つの地域支援事業を行った。それぞれの事業の2023年度の実績の次のとおりとなった。

#### ① ふたつの芽 親子グループ

登録者・出席者はA・B・C各グループとも、5組、4組、5組で、参加者は去年の半数以下であった。

#### ② 親子ひろば

今年からは親子ひろばの参加人数制限と、ひと家族の利用回数制限を撤廃した。利用人数のばらつきは多少あるが、多すぎて困るということもなくゆったりと存分に遊べていた。

また、ひろばの利用者が保育園に中途入園できた家族が2家庭あり、ひろばでのつながりがこの学園のよさを伝えるかっこうの機会となっている。

#### ③ 健康相談

月初めの火曜日に実施、月 1 回の実施だが、健康に関するだけでなく育児の悩みなど幅広い相談内容が寄せられ、好評であった。

#### ④ 離乳食・栄養相談

月末の木曜日実施、毎回好評で、コロナが明けて試食体験へお誘いできるようになり利用へと繋がった。

#### ⑤ 保育園での離乳食試食体験

2023 年度は再開し、2 件の実施であった。

#### ⑥ 園庭開放

8 月を除いて 4 月から各月実施、園庭で遊びながら在園児の遊びや教師と園児のかかわりを見る機会となった。公共の遊び場では味わえない経験や遊びを十分に味わうことができたと感じられた。

#### ⑦ 講座あつまればるた

2023 年度は「幼児の運動と生活リズム」をテーマに 3 回、講演会や親子体操を行った。

#### ⑧ 妊娠中のお母さんの子育て体験プログラム（出産を控えたご夫婦対象）

2023 年度は再開したが、申し込みはなかった。

#### ⑨ 子育て相談ポルタ

申し込みなし。

### (2) 施設・設備等教育環境の充実

- ・ 令和 5 年度中における学園の施設、設備等の教育環境整備を以下のとおり実施した。

[専門学校]

- ・ 構築物 屋上看板リフォーム 2,191,728 円
- ・ 備品 パソコン教室 PC リース一式 9,852,480 円

[幼稚園]

- ・ 建物 屋上プール用シェード新設工事 1,100,000 円、園児用トイレ改修工事 13,260,000 円
- ・ 構築物 屋上看板リフォーム 1,826,440 円
- ・ 備品 AED 定期交換 397,100 円、にじの部屋エアコン入れ替え 1,584,000 円、学校 110 番 TSK 253,000 円

[保育園]

- ・ 備品 保育室カーテン 364,748 円、食器棚 192,500 円、パソコン 181,060 円

[法人]

- ・ 構築物 屋上看板リフォーム 45,661 円

## 学校法人アルウィン学園役員並びに評議員（令和5年度）

理事（定数：8名 欠員1名 任期：2021年1月1日～2025年10月31日）

	役職	氏名	選任条項	備考	
1	理事長	藤岡 郁子	第6条第2項	理事総数の過半数の議決により選任する	1名
1	理事	藤岡 郁子	第7条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長	1名
2	理事	関本 泰子	第7条第1項第2号	評議員のうちから評議員会において選任した者	4名
3	理事	佐久本宏美			
4	理事	安田 淳一			
5	理事	国分 紀之			
6	理事	今関 公雄	第7条第1項第3号	学識経験者及び功労者の中から理事会において選任した者	2名
7	理事	小倉 昇			

監事（定数：2名 欠員0名 任期：2021年1月1日～2025年10月31日）

1	監事	阿部豊太郎	第8条第1項	理事会において選出した候補者の中から、評議員会の同意を得て、理事長が選任する	2名
2	監事	勝間田清一			

評議員（定数：17名 欠員1名 任期：2023年1月1日～2026年10月31日）

1	評議員	藤岡 郁子	第24条第1項第1号	この法人の設置する玉成保育専門学校の校長	1名
2	評議員	関本 泰子	第24条第1項第2号	この法人の職員で理事会において推せんされた者の中から、評議員会において選任した者	7名
3	評議員	佐久本宏美			
4	評議員	安田 淳一			
5	評議員	片岡 容子			
6	評議員	山本 直子			
7	評議員	春澤 薫			
8	評議員	黒田 康子			
9	評議員	国分 紀之			
10	評議員	西川 涼			
11	評議員	渡辺 愛			
12	評議員	今関 公雄	第24条第1項第4号	評議員会において選任された理事以外の理事	2名
13	評議員	小倉 昇			
14	評議員	加藤 正克	第24条第1項第5号	この法人に関係のある学識経験者及び功労者の中から、理事会において選任した者	3名
15	評議員	花井 香			
16	評議員	茂井万里絵			